



証券コード：7963

2023年12月期 第2四半期決算説明資料

「世の中にない」「真に役立つ」
それが、私たちの研究開発の出発点です。

クリーン、ヘルス、セーフティで社会に

 **興研株式会社**

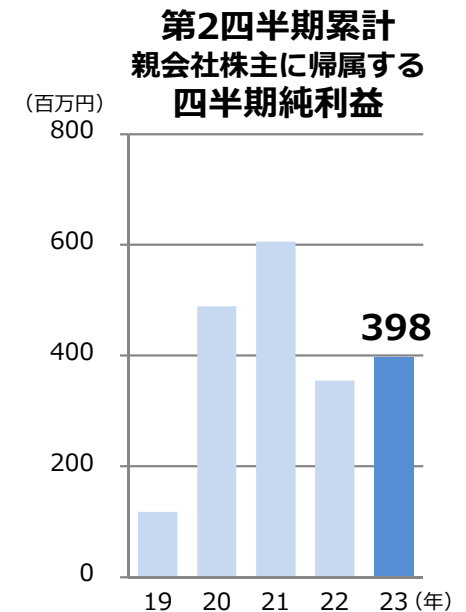
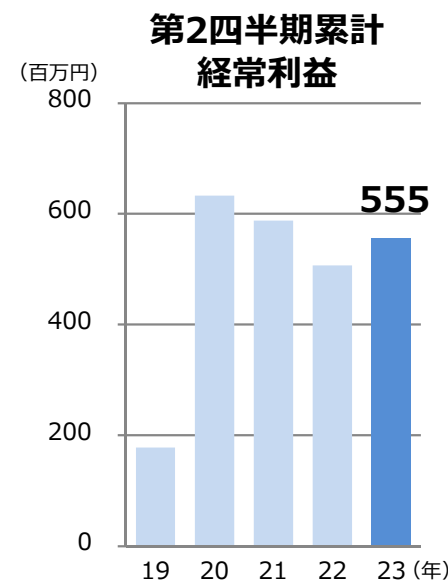
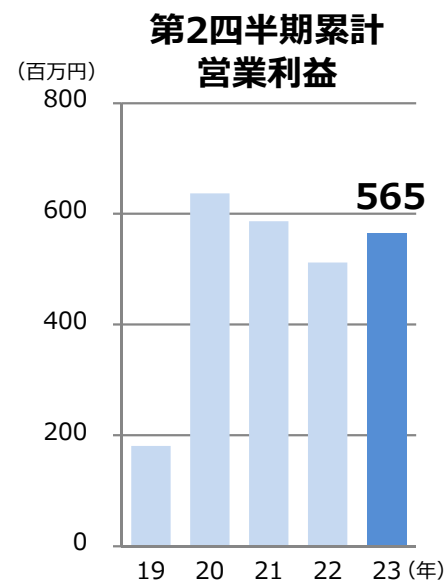
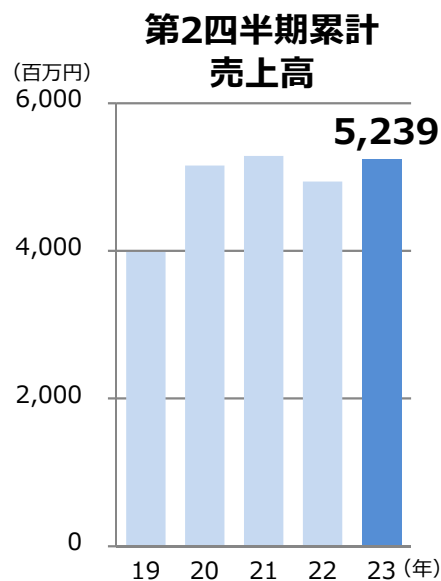
連結損益の状況（第2四半期累計期間）

○医療・産業向けマスクの販売が前期実績を上回り増収へ。

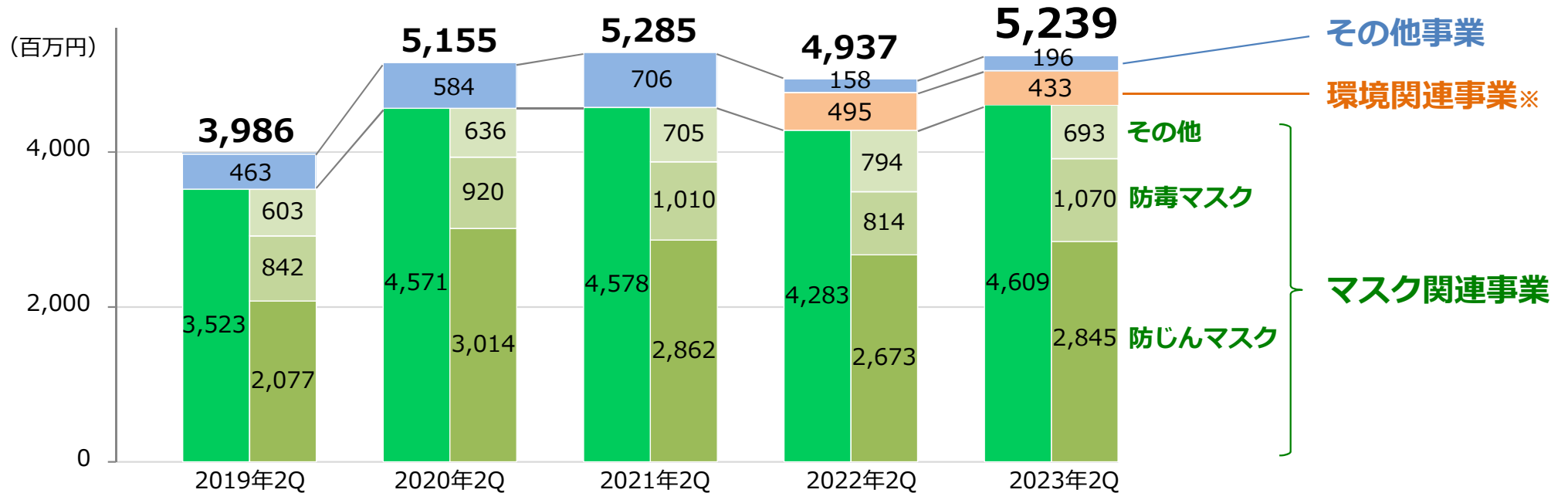
利益は、増収及び高稼働率による生産性向上により、前期実績を上回る。

（単位：百万円）

	2022年12月期 第2四半期		2023年12月期 第2四半期		前年同四半期比	
	実績	売上高比	実績	売上高比	増減額	増減率
売上高	4,937	100.0%	5,239	100.0%	+302	+6.1%
売上原価	2,582	52.3%	2,767	52.8%	+184	+7.2%
売上総利益	2,354	47.7%	2,471	47.2%	+117	+5.0%
販売費・一般管理費	1,842	37.3%	1,906	36.4%	+63	+3.5%
営業利益	512	10.4%	565	10.8%	+53	+10.4%
経常利益	507	10.3%	555	10.6%	+48	+9.5%
親会社株主に帰属する四半期純利益	355	7.2%	398	7.6%	+42	+11.8%
1株当たり四半期純利益	71円36銭	—	80円56銭	—	—	—



連結セグメント別の業績（第2四半期累計期間）



※2022年12月期通期決算より「環境関連事業」をその他事業から独立した報告セグメントとして開示しております。（2022年12月期第2Q実績は参考用）

マスク関連事業

- ・感染対策用マスクの受注数はコロナ第8波の収束に伴い減少に転じましたが、受注残となっていた医療機関向けの出荷が5月まで続き、産業用マスクについては景気回復により需要動向が復調傾向を示し、いずれも前年同四半期を上回る実績となりました。
- ・また、自衛隊装備品「防護マスク18式」の納入が加わり、当事業全体の売上高は46億9百万円（前年同四半期比7.6%増）となりました。
- ・なお、原材料価格や物流コストの高騰等に対応せざるを得ず、6月1日から一部製品について価格改定を実施いたしました。これに伴う前倒し受注増も一部含まれております。

環境関連事業

- ・オープンクリーンシステム「KOACH」については、納入物件数は前年並みとなっておりますが、大型物件の一部においてユーザー様の都合による納期繰り延べが発生したため、当事業全体としての売上高は4億33百万円（前年同四半期比12.4%減）に留まりました。

その他事業

- ・内視鏡洗浄消毒装置「鏡内侍ⅡG」は徐々に販売台数を増やし、当事業の売上高は1億96百万円（前年同四半期比23.6%増）となりました。

連結財務の状況（要約貸借対照表）

（単位：百万円）

	2022年 12月期		2023年 12月期	対前期末 差異	主な増減要因
	第2四半期末	通期末	第2四半期末		
資産の部					
流動資産	8,883	9,249	9,880	+630	現金及び現金の増加：+1,233 受取手形及び売掛金：△1,211
固定資産	11,395	11,318	11,095	△ 222	建物及び構築物（純額）の減少：△62 繰延税金資産の減少：△92
資産合計	20,279	20,568	20,975	+407	
負債の部					
流動負債	4,074	4,410	4,142	△ 268	1年内返済予定の長期借入金の増加：+254 未払い法人税等の減少：△163 賞与引当金の減少：△186
固定負債	4,938	4,338	4,836	+497	長期借入金の増加：+493
負債合計	9,012	8,749	8,979	+229	
純資産の部					
純資産合計	11,266	11,818	11,996	+177	利益剰余金の増加：+171
負債純資産合計	20,279	20,568	20,975	+407	

連結財務の状況（要約キャッシュ・フロー計算書）

（単位：百万円）

	2022年12月期 第2四半期	2023年12月期 第2四半期	増減	主な内訳
営業活動によるC・F	614	875	+260	税金等調整前四半期純利益：555 減価償却費：241 賞与引当金の減少：△186 売上債権の減少：847 棚卸資産の増加：△225 法人税等の支払額：△219
投資活動によるC・F	△55	△96	△40	有形固定資産の取得による支出：△89
財務活動によるC・F	412	449	+36	長期借入れによる収入：1,400 長期借入金の返済による支出：△653 配当金の支払額：△224
現金及び現金同等物 に係る換算差額	37	4	△32	
現金及び現金同等物 の増減額(△は減少)	1,009	1,233	+224	
現金及び現金同等物 の期首残高	2,187	2,386	+198	
現金及び現金同等物 の期末残高	3,197	3,619	+422	

1. 溶接事業場でのフィットテスト義務化されました

溶接ヒュームの吸入ばく露が、じん肺リスクに加え、神経障害等の健康障害を及ぼすと明らかになったことから、金属アーク溶接等作業を継続して行う屋内作業場では、面体形の呼吸用保護具を使用する作業員に対して、1年以内ごとに1回のフィットテストが、2023年4月より義務化されました。

● フィットテストの目的

呼吸用保護具に期待される防護性能を得るために極めて重要になるのが、呼吸用保護具と顔との密着（フィット）性です。

そして、作業員それぞれが使用する呼吸用保護具が、「高フィットかつ適切に装着されていること」を確認するためにフィットテストを行います。

● 動画等によるサポート

フィットテストの実践前に、「実際にどう準備を進めれば良いか？」「機器の操作方法は？」といったご相談が当社に寄せられているため、当社製マスクを用いたフィットテストに必要な機器の準備設定、実施方法、判定後の措置の一連の流れを説明した実践動画集を公開しました。

また、フィットテストで不合格となり、マスクの再選定をご検討をせざるを得ない方向けに、「マスク再選定相談窓口」も開設しております。

● フィットテストサービス（有償）

当社製マスクをご愛用いただいている事業者様へ、当社がフィットテスト実施者として請け負う「フィットテストサービス（有償）」を開始しました。マスク製造メーカーならではのノウハウを活かし、法令に規定されフィットテストを事業者にとって行う訪問サービスです。

今後も当社は高フィット性能マスクの研究開発・普及に努めるとともに、フィットテストに関して様々な形でのサポートを続けてまいります。

公開中の動画例



● 溶接以外の事業場でもフィットテスト義務化へ（2024年以降）

有機溶剤、鉛、特定化学物質及び粉じん作業現場において、作業環境管理が適切でないと判定された「第三管理区分」作業場で呼吸用保護具を使用する作業員に対しても、フィットテストが義務化※されます。

※令和4年厚生労働省令第91号「労働安全衛生規則等の一部を改正する省令（2022年5月31日公布）」

2. 技術革新と脱炭素への取組みにKOACHが役立ちます

● 熊本大学様でフロアーコートご採用

半導体で盛り上がりを見せる熊本県に立地する熊本大学様で、フロアーコートEz(3段5列26m)が2023年2月に採用され、現在最先端の研究が順次進められています。

同大学では半導体デバイスの研究及び学生向けの教育を目的に「半導体・デジタル研究教育機構」を立ち上げられ、その開所式の模様が同大学公式YouTubeチャンネルで紹介されています。先端科学研究部・鈴木特任教授による研究施設紹介の中で、フロアーコートの運用方法についても、大変わかりやすくご解説いただいております。

(動画) https://www.youtube.com/watch?v=S_fLdJ-z6GE

● TCFDに取り組み企業をサポート

2022年4月、東京証券取引所プライム市場上場会社に対して、気候関連リスク・機会に関する情報の開示（TCFD開示）が実質的に義務付けられました。今後、企業にとってTCFDへの取り組みは重要な経営課題となるといえます。

この取り組みに対してオープンクリーンシステムKOACHが以下の理由などからお役立ていただけます。

- ① 一般的なクリーンルームと比べて効率よく換気できるので、消費電力の大幅な削減が可能。
- ② 短工期のため、施工に伴い発生する温室効果ガスの排出量を抑えられる。
- ③ 工事資材が少なく、運搬車両の使用を減らすことができるので、車両の使用に伴う温室効果ガスの排出量を抑えられる。
- ④ 一度設置したものを解体して、別の場所で再び組み立てることができるので、設備施設を無駄なく使い続けられる。



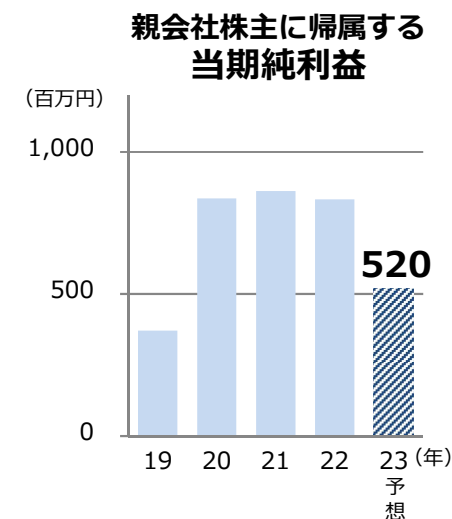
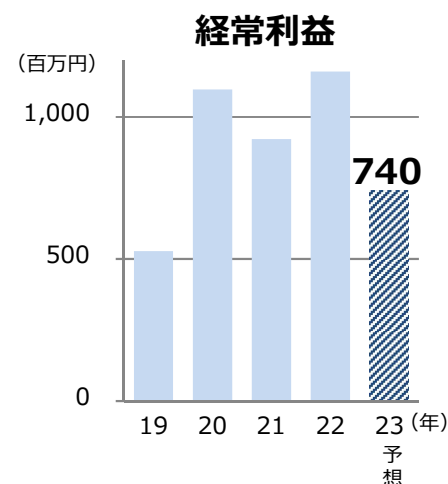
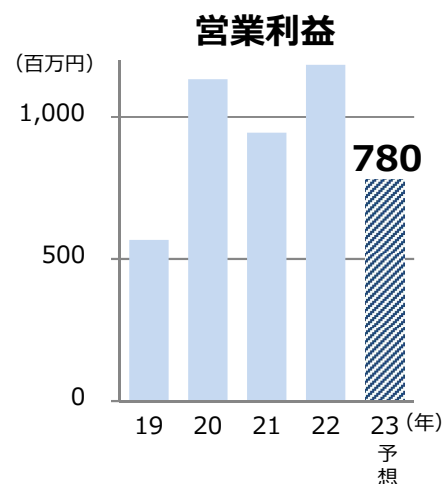
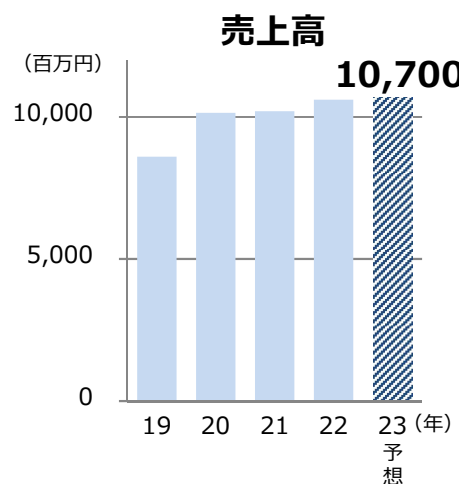
オープンクリーンシステム「KOACH」
フロアーコートEz

2023年12月期連結業績予想・配当予想

「第2四半期（累計）業績予想の修正に関するお知らせ」（2023年6月30日公表）の通り、上半期は業績の修正を行いました。2023年2月10日に公表いたしました通期の連結業績予想値の変更は行っておりません。今後の動向により業績予想の修正が必要となった場合は、速やかに開示いたします。

（単位：百万円）

	2020年12月期 実績	2021年12月期 実績	2022年12月期 実績	2023年12月期 予想
売上高	10,152	10,203	10,604	10,700
営業利益	1,133	945	1,184	780
経常利益	1,097	922	1,160	740
親会社株主に帰属に帰属する当期純利益	837	862	833	520
1株当たり当期純利益	167円34銭	172円27銭	167円85銭	105円24銭
1株当たり期末配当	45円00銭	35円00銭	45円00銭	25円00銭



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在（「2023年12月期第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」の公表日／2023年8月7日）入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

また、本資料は、投資勧誘を目的にしたものではありません。実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定は皆様自身のご判断で行うようお願いいたします。

本資料の掲載内容につきましては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報やその誤りなど、本資料の利用によって生じた損害、障害等に関しましては、事由の如何を問わず当社は一切責任を負いませんので、ご了承ください。

本資料に関するお問い合わせ先

興研株式会社
広報・IR室

TEL	03-5276-1932（直通）
FAX	03-5276-6530
E-メール	ir@koken-ltd.co.jp
ホームページ	https://www.koken-ltd.co.jp/